

令和7年度生徒指導サポート実践校「特別活動の取組事例」

学校名	廿日市市立大野東中学校	対象となる主な学年	全学年
取組事例名	「整意100倍～“やってみた”からともに創ろう～」		

◆ 生徒の実態及び取組を通して育てたい生徒像	
生徒の実態	取組を通して育てたい生徒像
<p>昨年度までも、縦割りでの掃除を実施していた。生徒主体での掃除を目指し、掃除リーダー研修や掃除オリエンテーションを行うものの、教師主体となっていた。また、私語や丁寧できない等の課題があり、掃除のやり方が分からないことが原因ではないかと考えた。</p>	<p>縦割り掃除を通して、学年を超えて相手を尊重し、互いに支え合いながら活動できる生徒を育てる。また、自分が集団の一員であることを自覚し、学校生活をよりよくするために主体的に役割を果たそうとする態度を養う。さらに、達成感や自己有用感をもって行動できる生徒の育成を目指す。</p>



◆ 取組の具体的内容	
取組を実施する意図及びねらい	
<ul style="list-style-type: none"> 現状を振り返り、生徒自身が課題意識をもって考えることで、掃除を縦割りで行う意義に気づかせたり、課題を自分事として捉え、工夫したり協働的に取り組んだりすることで、生徒が主体となって取り組むことができるようにすることがねらいである。 	
取組の流れ・創意工夫・生徒の変容等	
<ol style="list-style-type: none"> 生徒会執行部による現状把握（4月） 整美委員長及び委員長補佐が校内の掃除のようすを確認し、課題を把握する。 生徒会執行部で協議（4・5月） 学年掃除と縦割り掃除のメリット・デメリットや現状をもとに、自分たちが目指す姿になるためにどうすべきか考える。 委員会活動で、道具の基本的な使い方を全体周知（6月） ※ダスキン掃除教育カリキュラム参照 掃除工程表の作成・掃除チェックシートの見直し（7・8月） 教職員研修（8月） 取組の意義や目指す姿、これまでの取組と今後の掃除の在り方・掃除のやり方の確認等 掃除リーダー研修の実施（8月） 縦割り掃除の意義・リーダーとしての役割・掃除の流れの確認 	
<p>整美委員長を中心に、掃除リーダー及び全教職員が参加。縦割り掃除の進め方や役割分担の仕方等も丁寧に確認。</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 掃除オリエンテーション（9月） 集合・挨拶の流れや、道具の使い方（掃除の仕方）をリーダーが説明 委員会活動で、目標の設定や振り返り等（9月～） 無言清掃・大掃除の計画立案等 <p><生徒の変容> それぞれが、与えられた役割を責任をもって行うだけでなく、リーダーが道具の使い方や掃除の仕方・時間配分等を意識したり、自らが手本となるよう行動したりすることができるようになった。 【自己存在感の感受・共感的な人間関係の育成】</p>	

◆ 成果（○）と課題及び今後に向けて（●）
<ul style="list-style-type: none"> ○掃除の意義だけでなく、縦割りで行うことの良さを生徒自身が考え、気づき、それを言葉や行動で示すことができた。 ○生徒アンケート「意識的に（時間いっぱい・無言清掃・気づき清掃）掃除をしている」の肯定的回答が実施前の6月84%だったものが、10月・1月ともに88%で4ポイント増加している。 ●掃除の役割が日々変わることで、掃除のやり方が定着するのに時間がかかってしまう。一方で、役割を固定することにもデメリットがあるため、より良い方法を考えていく必要がある。